

都医ニュース NEWS

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 TEL 03-3294-8821(代)

かかりつけ医機能報告制度の施行

- | | |
|-------------------|----|
| 底流／地区医師会長連絡協議会報告 | 02 |
| 城東ブロック医師会連絡協議会 ほか | 03 |
| 城北地区医師協議会 ほか | 04 |
| みどりの広場 ほか | 05 |
| ふれあいポスト | 06 |
| 感染症豆知識 ほか | 07 |
| 地区医師会長からの一言 | 08 |

定価 1部77円



丸の内イルミネーション

かかりつけ医機能報告制度の施行

すべての診療科・医療機関に
「かかりつけ医機能を有する」
との報告が望まれる

制度の概要

一つは、言うまでもなく今後
の少子超高齢化の進展であ
る。「複数の慢性疾患や医療
介護の複合」ニーズを有するこ
とが多い高齢者の更なる増加
と生産年齢人口の急減が見込
まれる中、地域によって異なる
人口構造の変化に対応し、
『治す医療』から『治し、支
える医療』を実現していくた
めには、これまでの地域医療
構想や地域包括ケアの取組に
加え、かかりつけ医機能が発
揮される制度整備を進める必
要」とある。もう一つの理由
については後述する。

制度の背景

本報告制度の目的は、「医療機関からの報告により、国民の医療機関の選択を支援する」と共に、協議の場を通じて、地域で必要とされるかかりつけ医機能を充実・確保し、医療サービスの向上につなげる「ことを目指すもの」とされる。

制度の目的

令和7年4月にかかりつけ医機能報告制度が施行され、令和8年1月より実際の報告が始まる。まずは本報告制度の目的・趣旨についてよく理解いただいた上で、各自ご対応いただきたい。

医療機関の実施事項

- に導入された医療機能情報提
供制度に追加される位置づけ
となつてゐる。対象医療機関
は、特定機能病院等を除く全
ての病院・診療所で、医療機
関には以下の①報告 ②院内
掲示 ③患者説明の実施が求
められる。

● 通常の診療時間外の診療
● 入退院時の支援
● 在宅医療の提供

● 介護サービス等と連携した
医療提供

その他の報告事項

健診、予防接種、地域活動、
教育活動等

教育活動等

2020年からコロナ禍において「かかりつけ医の制度化」の議論が活発になったが、これに日本医師会が対応し、「骨太の方針2022」において「かかりつけ医機能が發揮される制度整備」という形に收まり、今回のかかりつけ医機能報告制度となつた。

本報告制度は、平成18年度

- （日常的な診療を総合的かつ継続的に）行う機能
- 「具体的な機能」を有すること及び「報告事項」について院内掲示をしていること ★
- かかりつけ医機能に関する研修の修了者の有無・総合診療専門医の有無
- 17の診療領域のいずれかについて一次診療を行うことができる
- 一次診療を行うことができる疾患
- 医療に関する患者からの相

かかりつけ医機能に関する研修

継続して医療を提供する場合、患者・家族からの求めに応じ、治療計画等について説明するよう努める。

最後に

● 医療に関する患者からの相談に応じること ★

眞面目に書いた、本報告制度
が始められるに至ったもう一
つの理由は「かかりつけ医の
制度化」に関する事である。

となつており、不十分な結果ともなれば、制度の見直しの議論にもつながりかねない。いろいろと意見はあると思うが、制度の趣旨を十分理解した上で多くの医療機関が適切に報告を行い、不足する機能について協議の場で話し合いい、地域の連携により面で支えるかかりつけ医機能の構築を進めていただければと

底流

未来の地域医療とは

「19番目のカルテ」という漫画をご存じだろうか？ テレビドラマにもなって、総合診療科の知名度を上げたようだ。

耳鼻科医としてつんつんして最初のスギ花粉症のオンライン、土曜日に通院している患者さんが「鎌で手を切った」と受診してきた。「こ

こは耳鼻科よ」と言つと、「先親指の半周以上にわたる傷だつたが、深いところ以外はほとんど止血していた。ステリドを固定し、更にエラス

トボアと絆創膏でがちがちに固定してから、月曜日に外科に行くよう伝え、抗生素を処方して帰つもらつた。

その患者さんは、待合室に派手な登場をしたうしくその後診察した患者さんは、「先生と患者さんの相談をするよう努力をして、私の地域の先生は、かかりつけ医機能、地域包括感を感じたのを覚えていてる。同時に、地域で私は耳鼻科医としてだけ求められているのではないことに気づかされた。それから、医師会の他科

医師会活動もしながら25年以上が経ち、専攻科を軸足に地域医療に参加している。私と同世代の先生方は、かかりつけ医機能はすでに近いものを行つてきていると思う。しかし現在、更なる高齢化が急速に進むことによつて、課題が深刻化する超高齢社会において、医療のニーズが急激に変化している現状を的確に理解しなくてはいけない。

医師をはじめとする医療提供者の相対的減少、独居高齢者の増加の中で、アウトリーチしていくとなればならない医療が増えていくと考える。もちろん、未來の医療の担い手の創出、育成を忘れずに、もうひと踏ん張りしていきましょう。

（市川菊乃）

地区医師会長連絡協議会報告

令和7年11月21日(金)

◎都医からの伝達事項 (1)「成人のワクチン手帳」の作成について

本会にて成人用のワクチン手帳を作成した。高齢者がワクチン手帳を持つことによって、自分が接種すべきワクチンが明確になるとともに、ワクチン接種への啓発にもなり、公衆衛生における感染症予防につながると考える。地区医師会A会員数×10部をお送りする旨お知らせした。

告制度について 12月16日 東京消防庁救急相談セン

（2）令和7年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施状況（第2四半期）について

標記事業の今年度第2四半期分について報告し、引き続き事業実施にご協力いただきたい旨お願いした。

（3）令和7年度「とうきょうオレンジドクター」連携支援事業補助金第2回交付申請の実施について

東京都では、区市町村が「とうきょうオレンジドクター」に対して、研修や講演会の参

加、医療相談や同行訪問等を依頼する場合の経費について

区市町村へ補助する事業を開

始したので、積極的な活用の働きかけをお願いした。

（4）かかりつけ医機能報告制度について

（7）救急相談センター一次

地方行政ではあるものの、首都東京の行政が都知事名でこのような要望を出すことは、非常にめずらしいことだと思います。

しかも、病院の経営実態調査は東京都が独自に行ってくださったものであり、その結果の信頼性はとても高いものです。

それだけ東京の病院が厳しい状況にあることを、東京都がしっかり受け止めてくださり、「病院を守らなければならぬ」という強い意思を示していただいたことに、心から感謝申し上げます。

医療を前に進めるうえで、東京都とともに歩む車の両輪の一つであると考える東京都医師会は、これから東京の医療を守るために、東京都と力を合わせながら、どんな状況でも仲間である東京の病院を決して失わないという想いで、あらゆる限りの努力を続けていく決意であります。

そして都民の皆さんには、東京の医療を支えてきた病院や医療従事者が、今まさに大きな困難に向き合っていることを知りたいと思います。

皆さまの健康と生活を守る医療体制を維持するために、行政や医師会だけではなく、都民の皆さんのお力添えが大きな支えになります。

東京の医療を未来につなぐために、どうか一緒に歩んでいただければ幸いです。

令和7年11月14日 公益社団法人東京都医師会 会長 尾崎治夫

（火）に地域医療担当理事連絡会をWEB形式で開催し、日医と東京都からご説明いただくので、担当理事等の出席をお願いした。

（5）東京都医師会実施「医療廃棄物の回収料金等に関するアンケート調査」の結果について

9月に実施した標記アンケート調査の結果について

（1）中央ブロック

（2）城西ブロック

（3）多摩ブロック

（4）北多摩医師会

（5）（玉川医師会）

（6）（渋谷医師会）

（7）（渋谷区医師会）

（8）（世田谷区医師会）

（9）（北多摩医師会）

（10）（北多摩医師会）

（11）（北多摩医師会）

（12）（北多摩医師会）

（13）（北多摩医師会）

（14）（北多摩医師会）

（15）（北多摩医師会）

（16）（北多摩医師会）

（17）（北多摩医師会）

（18）（北多摩医師会）

（19）（北多摩医師会）

（20）（北多摩医師会）

（21）（北多摩医師会）

（22）（北多摩医師会）

（23）（北多摩医師会）

（24）（北多摩医師会）

（25）（北多摩医師会）

（26）（北多摩医師会）

（27）（北多摩医師会）

（28）（北多摩医師会）

（29）（北多摩医師会）

（30）（北多摩医師会）

（31）（北多摩医師会）

（32）（北多摩医師会）

（33）（北多摩医師会）

（34）（北多摩医師会）

（35）（北多摩医師会）

（36）（北多摩医師会）

（37）（北多摩医師会）

（38）（北多摩医師会）

（39）（北多摩医師会）

（40）（北多摩医師会）

（41）（北多摩医師会）

（42）（北多摩医師会）

（43）（北多摩医師会）

（44）（北多摩医師会）

（45）（北多摩医師会）

（46）（北多摩医師会）

（47）（北多摩医師会）

（48）（北多摩医師会）

（49）（北多摩医師会）

（50）（北多摩医師会）

（51）（北多摩医師会）

（52）（北多摩医師会）

（53）（北多摩医師会）

（54）（北多摩医師会）

（55）（北多摩医師会）

（56）（北多摩医師会）

（57）（北多摩医師会）

（58）（北多摩医師会）

（59）（北多摩医師会）

（60）（北多摩医師会）

（61）（北多摩医師会）

（62）（北多摩医師会）

（63）（北多摩医師会）

（64）（北多摩医師会）

（65）（北多摩医師会）

（66）（北多摩医師会）

（67）（北多摩医師会）

（68）（北多摩医師会）

（69）（北多摩医師会）

（70）（北多摩医師会）

（71）（北多摩医師会）

（72）（北多摩医師会）

（73）（北多摩医師会）

（74）（北多摩医師会）

（75）（北多摩医師会）

（76）（北多摩医師会）

（77）（北多摩医師会）

（78）（北多摩医師会）

（79）（北多摩医師会）

（80）（北多摩医師会）

（81）（北多摩医師会）

（82）（北多摩医師会）

（83）（北多摩医師会）

（84）（北多摩医師会）

（85）（北多摩医師会）

（86）（北多摩医師会）

（87）（北多摩医師会）

（88）（北多摩医師会）

（89）（北多摩医師会）

（90）（北多摩医師会）

（91）（北多摩医師会）

（92）（北多摩医師会）

（93）（北多摩医師会）

（94）（北多摩医師会）

（95）（北多摩医師会）

（96）（北多摩医師会）

（97）（北多摩医師会）

（98）（北多摩医師会）

（99）（北多摩医師会）

（100）（北多摩医師会）

（101）（北多摩医師会）

（102）（北多摩医師会）

（103）（北多摩医師会）

（104）（北多摩医師会）

（105）（北多摩医師会）

（106）（北多摩医師会）

（107）（北多摩医師会）

（108）（北多摩医師会）

（109）（北多摩医師会）

（110）（北多摩医師会）

（111）（北多摩医師会）

（112）（北多摩医師会）

（113）（北多摩医師会）

（114）（北多摩医師会）

（115）（北多摩医師会）

（116）（北多摩医師会）

（117）（北多摩医師会）

（118）（北多摩医師会）

（119）（北多摩医師会）

（120）（北多摩医師会）

（121）（北多摩医師会）

（122）（北多摩医師会）

（123）（北多摩医師会）

（124）（北多摩医師会）

（125）（北多摩医師会）

（126）（北多摩医師会）

（127）（北多摩医師会）

（128）（北多摩医師会）

（129）（北多摩医師会）

（130）（北多摩医師会）

（131）（北多摩医師会）

（132）（北多摩医師会）

（133）（北多摩医師会）

（134）（北多摩医師会）

（135）（北多摩医師会）

（136）（北多摩医師会）

城東ブロック医師会連絡協議会

秋の深まりを感じる
日(木)、都内ホテル
東ブロック医師会連絡
が開催された。墨田区
の湯城宏悦副会長の司
と、同医師会西島由美
の開会の辞があった。
引き続き、第一部講

て「墨田区医師会災害訓練について」と題し、三浦邦久墨田区医師会理事（東京曳舟病院副院長）から、墨田区の定関と緊急医療救護所の連携、感染症流行における災害対応の意義についての熱弁では、参加者全員がいざれくる

医療機関の置かれている経営上の危機的状況や、日本全国を俯瞰してみて時代の大きな変化によるそれぞれの地域に



三浦理事（墨田区）



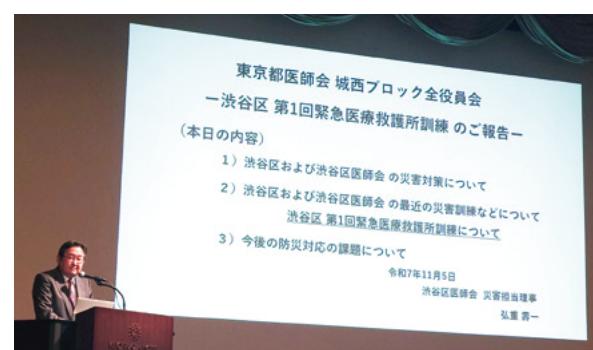
山室会長（墨田区）

11月5日(水)、都内ホテルにて城西ブロック全役員連絡会が開催された。幹事医師会である新宿区医師会の根本充総務理事の司会のもと、同医師会の星野洋副会長および岡部富士子会長より挨拶があった。岡部会長は、医師会員は診療だけでなく、災害対策も行つていかなければならぬこと、災害といつても地る。全国一律というのは無理、震だけでなく水害、噴火等多岐にわたり難しい対応を求められると指摘した。来賓挨拶では東京都医師会の尾崎治夫会長が、これから地域医療構想について「大都市型・地方都市型・過疎地域型に分けて考えるべきではないか」と呼びかけ、「これからは各都道府県で運命が変わっていく。防災力向上を図ることを目的に、地域の避難所を会場について考え、対応していくことが必要である」と述べた。引き続き、渋谷区医師会の重毒一理事が「渋谷区第1回緊急医療救護所訓練のご報告」と題して講演した。渋谷区では、区民の防災意識を高め、防災力向上を図ることを

城西ブロック全役員連絡会

として行われる体験型の防災訓練「渋谷防災キャラバン」が年11回にわたって開催されていると報告があり、非常に印象的であった。渋谷区医師会では区内を4ブロックに分割し、キャラバン方式で時期をずらして順に訓練していくことを計画。事前勉強会を三回、実際の訓練ではアクションカードを用いて任務、活動場所、行動、報告等、有事の際に参集した医療従事者が混乱して機能不全にならないよう訓練を行っていた。参加者も多く、非常に活気ある訓練の

様子が報告され、またそこから得た反省や教訓についても言及ががあり、他医師会にも参考になる素晴らしい講演であった。



弘重理事（渋谷区）

都医ニュース表紙の 写真を募集

本ニュースは毎月、季節に合った東京の写真を表紙に掲載しております。その表紙写真に、先生が撮影した写真を応募してみませんか？ 都内の写真で、季節感のあるものをお願いします。本会広報委員会で掲載を決定いたします。なお、掲載された写真は、本会のホームページにも掲載させていただきます。

カメラやスマホで撮影したデジタルデータ
600万画素以上(横3000×縦2000ピクセル以上)
プリントサイズは、横235mm×縦137.5mm以上
※表紙の形(比率:横1.5×縦1)に合わせてトリミングさせていただきます。写真の上半分には題字が重なりますのでご了承ください。

麻暮・問い合わせ先

〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会 広報学術課 ☎ 03-3294-8821(代)
koubou@tokyo-med.or.jp

合わせた保険診療システムの改革と調整の必要性について、東京都医師会の挨拶があった。続いて来賓紹介が行われ、東京都知事の

様子が報告され、またそこから得た反省や教訓についても言及があつたり、他医師会にも参考になる素晴らしい講演であった。



三浦会長（品川区）発表の様子

A photograph of a man in a dark suit and tie standing behind a wooden podium. He is speaking into a black microphone and holding a white book or document in his left hand. The background is a plain white wall. In the upper right corner of the image, there is a small portion of a presentation slide with Japanese text.

都医ニュース表紙の写真を募集

応募規定

カメラやスマホで撮影したデジタルデータ
600万画素以上(横3000×縦2000ピクセル以上)
プリントサイズは、横235mm×縦137.5mm以上
※表紙の形(比率:横1.5×縦1)に合わせてトリミングさせていただきます。写真の上半分には題字が重なりますのでご承知おきください。

城南五医師会連絡協議会

10月31日長より挨拶があつた

川博之東京都医師会副会长、川上一恵同副会長から、それぞれの発表の意義と後の展望について指摘があった。議事終了後は懇親会が行われ、各テーブルとも会員間の活発な意見交換が行われた。各医師会と東京都医師会とのネットワーク強化に資する時間となった。閉会の辞は笛川綾子荏原医師会副会长より行われ、盛会裡に散会した。今回の会議を通じて、5歳児健診と在宅医療という2つのテーマが、地域医療連携の観点から重要な示唆をもたらした。今後、他医師会との横断的な情報共有とフォローアップの体制構築が課題となるだろう。

医師国保からのお知らせ

マイナ保険証を利用している場合も、これまで通り届出が必要です

- 現在も医療・福祉の事業または業務に従事していますか？
- 住所は住民票と一致していますか？
- 退職または非常勤になった従業員の喪失手続きはしましたか？
- 健康保険適用除外承認は受けていますか？
(法人事業所・常勤の従業員が5人以上の個人事業所の場合)

組合員や家族に資格の喪失や変更がありましたら、すみやかに届け出てください

各種届出に必要な書類は、ホームページよりダウンロードできます。

東京都医師国民健康保険組合

☎ 03-3270-6433 (業務課)

都医 HP・Eメール

■ホームページアドレス

<https://www.tokyo.med.or.jp>

■Eメールアドレス jimu@tokyo.med.or.jp

11月6日（木）、地区医師会諸事業として、標記協議会が都内のホテルで開かれた。主幹の碓井昌北区医師会長の挨拶で開会した。来賓の尾崎治夫東京都医師会長の挨拶

会議は、小林会長、斎藤会長より挨拶があり、東京都医師会の出席者紹介があった。各地区医師会を代表して齋藤英治板橋区医師会長、小林裕太郎豊島区医師会長、内田寛練馬区医師会長より挨拶



後列左から 内田会長、小林会長、斎藤会長 前列左から 碓井会長、尾崎会長

に続き、東京都医師会の出席者紹介があつた。後列左から 内田会長、小林会長、斎藤会長 前列左から 碓井会長、尾崎会長

解説、補足などが追加され、それに対し熱心な質問があつた。関連も含めて詳細な解説が交わされた。

結びに、田中豊北区医師会副会長の挨拶で閉会となりました。

並びに出席者紹介を行つた後、原陽子北区医師会理事

が北区の出席者を紹介した。

引き続き、各地区医師会よ

り議題報告があつた。

①板橋区医師会後期高齢者健診（フ

レイル健診）問診票について

②豊島区医師会「予防接種業務のデジタル化につい

て」、③練馬区医師会「災害

時における近隣医師会との医

療連携について」、④北区医

師会「令和7年度肺がん検診

に関する報告」かかりつけ医

で行う肺がん検診の導入」

と題して報告がなされ、それ

ぞれに対し熱心な質問があつた。

関連も含めて詳細な

解説が交わされた。

結びに、田中豊北区医師

会副会長の挨拶で閉会とな

った。

当番医師会の熊野雄一東久

留米市医師会長による開会の

辭で始まり、来賓として、松

本吉郎日本医師会長、尾崎治

夫東京都医師会長、富田龍馬

東久留米市長より挨拶があつ

れた。

当番医師会の熊野雄一東久

留米市医師会長による開会の

辭で始まり、来賓として、松

本吉郎日本医師会長、尾崎治

夫東京都医師会長、富田龍馬



より良いICのために

北里大学北里研究所病院
高井有理子



私はNHKでアナウンサーとして働いた後、医学部に学士編入し、現在初期研修医として働いております。全く違う分野から医療の世界に飛び込んだわけですが、そこで気づいたのは、医師の仕事は意外に「話す」仕事が多いということです。カンファレンスでのプレゼン、学会での発表、患者さんやご家族への説明(いわゆる「IC」)。なかでも難易度が高いのは、ICではな
いでしょうか。

「医師の説明は難しい」と言われることがあります。しかし、私が実際に一人に同席させて頂くと、先生のわかりやすい説明に感銘を受けたことは数知れません。消化器では、腹腔内臓器の略図を患者さんの目の前で上手に紙に描き、その図を指差しながら説明されていたり、心臓や脊椎などの模型を使って説明されたり。普段は多用している医学用語を、ICUではほとんど使わずに説明されている様子

「おはようございます。」
先生方から「アナウンサー」と呼ばれる
「のだと」と尊敬の念を抱かず
にいられません。

ですから話し始めは特にゆっくり、相手の頭のエンジンがかかるのを待つようなつもりで始めましょう。そうすればその後少しスピードアップしても、相手は話の内容についていけるものです。

ビジネスの世界などでは仕事をされている方に対しても、また別の注意が必要な気がします。それは、敬語の使い方です。相手の行動に「～しております」と謙譲語を使ってしまったり、「もうすぐ〇〇

まずは「はっきり、ゆっくり話すことが大切です。そうでもないと重要な話も頭に入らずに流れていってしまいます。医療者側は、話す内容について準備をしていますが、ご家族は初めて聞く話なのです

先生がいらっしゃいます」と病院サイドの人に対して尊語を使つたりすることが見けられます。間違つた敬語を使ってゐる医師に対しても家族が「はあ?」と困惑さでいるところも残念ながら擊したことがあります。どなに患者さんに最適な治療していても、社会人として

言葉遣いができるっていないせいいで、信頼を損ねるのはあまりにもつたいたいことです。この文章の主語は誰なのか、医師側、患者側どちらなのかを意識して敬語を使い分けてみてください。

わかりやすく、信頼されるICのために、少しでも参考になりましたら幸いです。

知ってますか？

應用行動分析

(ABA : Applied Behavioral Analysis)

行動の原理を科学的に応用し、社会的に重要な行動を理解し改善を試みる手法。きっかけ(Antecedent)、行動(Behavior)、結果(Consequence)の「ABC分析」を主要な枠組みとして用いる。望ましい行動を強化し、不適切な行動を減らすため、環境要因(A)や結果(C)：周囲の人がどのように反応するか、等の調整方法を検討する。主に発達障害児支援や認知症ケアの分野等で活用される。

第472回 国際治療談話会 例会 「これから地域医療のあり方 ～医療経済のことを踏まえて～」

(公財)日本国際医学協会 事務局
東京都世田谷区上馬1-11-9 3F
TEL:03-5486-0601 FAX:03-5486-0599
E-mail:imsj@imsj.or.jp
協会ホームページ: <https://www.imsj.or.jp/>

日時▶1月22日(木)19時~21時 **形式**▶WEB講演
座長／閉会挨拶▶近藤太郎((公財)日本国際医学協会 常務理事)
〔**第1部**〕感想「これから地域医療を医療経済の面から考える」
後藤 励(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)
〔**第2部**〕講演1「データと政策で読み解く地域医療の未来」吉村健佑
(千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター センター長・特任教授)
講演2「診療報酬改定と今後の病院医療」太田圭洋(社会医療法人名古屋記念財団 理事長)
閉会挨拶▶石橋健一((公財)日本国際医学協会 理事長)
参加・視聴▶無料
申込方法▶右記2次元コードまたは協会ホームページ
より、事前登録をお願いいたします。
取得単位▶日医生涯教育制度1単位(CC:12_6)



都医二ユース2号（昭和36年2月発行）を
お持ちの方はご一報ください

Thinking is the Ultimate Tool for Receipt Billing.

東京労働保険医療協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河町2-5
東京都医師会館 4階 TEL 03-5577-2960



ふれあいポスト

各地区会報から

北多摩医師会

水川眞二郎

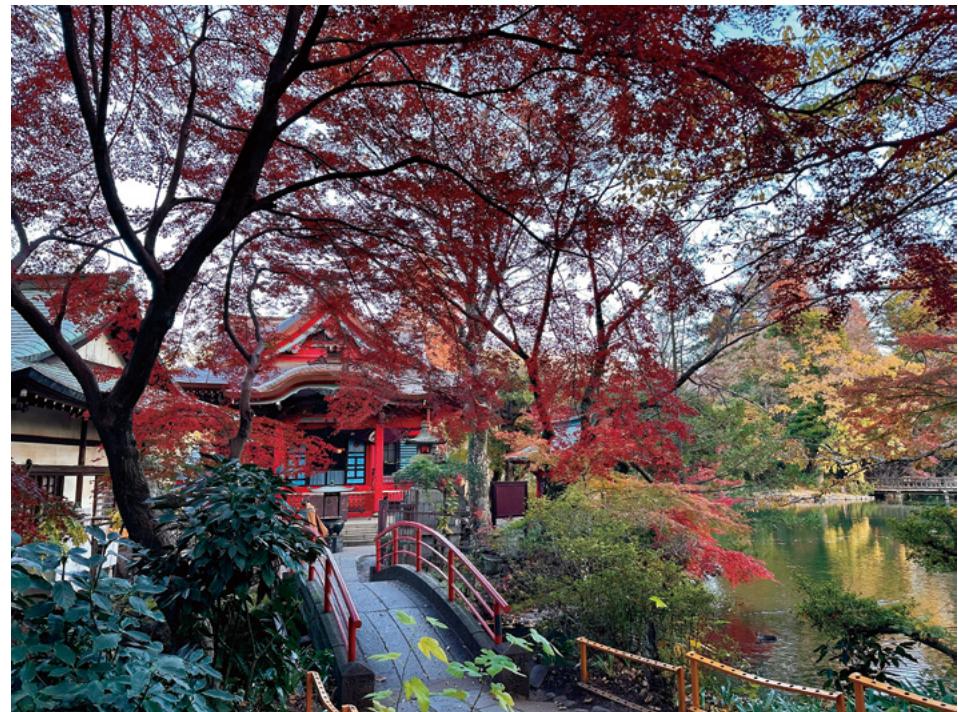
ファシリティドッグ

午前中の外来が終わり、昼休みに自宅に戻ってみると、我が家のお柴犬が眠るように息を引き取っていた。ここ一年余り寝たきりの状態が続いていた老犬は2日ほど前から弱々しい咳が始まっていたが、特に苦しがることもなく、自宅で一生を終えることができたと思う。2日後、火葬場の手前で信号待ち。車の助手席には静かに目を閉じている老犬があり、もう少し道のりが遠ければいいのにと感じた。茶毎に伏して数時間後の帰り道、初めて車に乗せて散歩に連れて行った公園の近く。自宅に戻る前、最後の散歩のつもりで遡りして帰宅した。数か月後、妻がインターネットを見ながら、嬉しそうな声で「見てみて」と手招きした画面にはかわいいラブラドールの幼犬。土曜日の外来が終わり、暑いけれどなんとなく気分のいい午後、ブリーダーさんの自宅で初めての対面。帰りに家族と食事をしながら飼うことを決めた。新人の幼犬はすぐに慣れ、現在は何でもかんでも噛み、人の足や机、椅子、スリッパなどどんどん部屋を破壊している。さすがに先住の柴犬の写真はかじらないようである。

今夜は東京都立小児総合医療センターの運営協議会。自宅でWeb参加している。ご存じのとおり、小児総合医療センターは地域の基幹病院に留まらず、令和6年4~7月の紹介患者数は4410名、8割は多摩地区からの紹介となっているが、4%は他県からの紹介とのことである。診療に関しては救急搬送の応需率が、年齢的な適応外を省くとほぼ100%。その他、子供の心療の拠点病院事業として、虐待、発達障害、引きこもりなど様々な心の問題に対応を行っていることや、医療的ケア児の在宅療養支援として地域医師会傘下の医療機関に協力して頂いていることなどの説明が行われた。令和6年度の取り組みの説明では、病院内のファシリティドッグの説明があり、ラブラドールと看護師さんが写っている写真が紹介された。長期入院している小児の療養環境の向上を目的にしているとのことで、実際手術を嫌がっていた子供が犬と一緒にいれば手術に向かっていけた事例もあったとのこと。我が家の中の机の下にいる幼犬はとても病院の

ファシリティドッグになれるとは思えないほどやんちゃで自分の足を噛んでいる。このように小児の心のケアも含め、すべてを行っている小児医療センターであるが、令和5年度は令和4年度に比し入院、外来患者数が伸びているにもかかわらず収益が減っており、全体収支として4500万円の赤字になっているとのことである。ちゃんとした医療を行い、継続できる収支になれるような医療体制維持の提言を医師会として続けていただきたいと切に願っている。小児総合医療センターのファシリティドッグも1頭では入院患者の26%にしか対応できず2頭目の導入を予定しているとのこと。今回導入資金はクラウドファンディングを活用し、2500万円の資金調達を目指していると説明があった。我が家の中の幼犬だと子供の足を噛むかもしれないため、クラウドファンディングで協力したいと思う。

(『北多摩医師会報』2024年10月 第626号より抜粋)



師走

武藏野市医師会 藤田光裕

中野区医師会

方山栄哲

時速300kmの驚異

先日、YouTubeで面白い動画を見つけました。鉄道ファンの先生ならご存じでしょうが、新幹線が猛スピードで駅を通過する動画です。

東北新幹線のこまち・はやぶさが時速300kmで新白河駅あたりを通過すると、轟音と暴風をまきちらしながらあの長い新幹線がわずか5秒ほどであっという間に走り去って行きます。これは見ていてスカッとしますよ。

ところで、この快感を分析すると、もちろん、圧倒的なパワーに触れることがあります、もう一つ、「無視される快感」もあるような気がします。列車に人格はありませんが、あまりの猛スピードのため、こちらはとことん無視されるように感じ、なぜかこれが心地

よいのです。おわかりでしょうか。

もちろん、無視、シカトはいじめの第一歩ですから、実社会では許されませんが、動画を見て勝手に無視されて喜んでいる分には構わないのではないかでしょうか？マゾですかね。ご不審の先生は、ぜひ動画をご覧いただいて気持ちよさを分かちあえたらと思います。

さて、新幹線に無視されるのは快感！で許されても、せっかく作ったわれらが医師会新聞が無視されるのはつらいです（泣）。

どうか、時速300kmでゴミ箱に直行させる前に、どなた様も、お読み忘れ、お読み落としのございませぬよう、今一度、お確かめくださいますようにお願ひいたします。

(『医師会新聞』2024年4月 No.682より抜粋)

無声拝聴

自動車は レースカーが好きです

世界には、3大レースがありまして、F1（マクラーレン、フェラーリが有名でホンダも頑張っていました）。FIA世界耐久選手権（最近はトヨタが頑張っていますが、ポルシェが有名）。そして、WRC（世界ラリー選手権）です。どれも大変人気があるので、F1と耐久カース、全くのレーシングカーナの対し、ラリーカーは、最高峰クラスでも、市販車そっくり。下のクラスの国内ラリーなどは、市販車改造で出られるのが、ラリーです。

1980～90年代は、グループAとかBとか制限はあるものの、市販車をベースに改造した車でレースしていました。舗装路ターマックはもちろん、未舗装路（グラベル）や深い雪道などを、土埃や新雪を撒き散らして疾走する姿には、惚れ惚れしました。それらのレースカーのベース車は、市販車ですから、買えたりもします。国産メーカーでも、

本物のWRCカーは、去年まではハイブリッドでしたが、今年はターボエンジンのみとなっています。サステナブル燃料を使っています。この先どうなるか分かりません。いずれにせよ、2050年には、全てのガソリンエンジン車の使用を終わらせるそうです。それまでならば、終いの車にしましようか。

（大畠隆郎）

うです。トヨタセリカ、スバルインプレッサ、ミツビシランサーエボリューションなどがあつて、どれも格好良くて、とても欲しかったものです。さて最近、いろいろなタイミングが良くて、現在国産唯一のトヨタのベース車、GRヤリス（旧型）をついつい買ってしまいました。ガソリンエンジン車で、しかもマニュアルです。2035年には、純ガソリンエンジン車の新車販売は終了するそうです。東京都では、先行して2030年には、販売しないことになっているそ

高用量インフルエンザワクチンが いよいよ登場

インフルエンザシーズンに突入し、すでに多くの高齢者がインフルエンザワクチンの接種を受けていると思われる。インフルエンザワクチンの有効性については以前からたくさんの報告があり、それをもとに、65歳以上の高齢者では定期接種となっている。

しかしながら、データを細かく見ていくと、年齢によって有効率が異なり、高齢者ほど有効率がやや落ちることがわかっている。それは「免疫老化」が原因と思われる。高齢になるにつれて、免疫細胞の数の減少、機能の低下が見られ、感染症を発病しやすくなるだけでなく、ワクチン接種に対する免疫反応も低下すると考えられている。

そこで、高用量インフルエンザワクチンが登場した。高用量とは、抗原量が標準用量のワクチンの4倍入っていることを意味しており、免疫反応が高まるように作られている。欧米では、2009年の米国FDA承認以降、数十カ国以上で導入されており、複数のランダム化比較試験や観察研究から、標準用量ワクチンに対する優越性を示すエビデンスが得られてきている。

国内第Ⅲ相試験では、60歳以上の日本人成人を対象に高用量と標準用量ワクチンの免疫原性と安全性が比較検討された。標準用量群と比較して、高用量群は有意に高い抗体価と抗体陽転率を認めた。重篤な有害事象は高用量で0.2%、標準用量で0.5%であり、いずれもワクチンに関連すると判断されたものはなかった。日本人においても忍容性は良好と考えられる。

主要国では高齢者に対しては高用量ワクチンの接種が推奨されており、我が国では来シーズンから接種可能となるので、定期接種化の検討が必要と考える。

（文責：永井英明）

感
染
症
豆
知
識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

会員の弔慰・見舞金支給

本会では福利厚生の一環として、東京都医師会A会員・B会員の先生方が、業務従事中に急激かつ偶然な外来の事故（病気は対象外）により、死亡あるいは後遺障害が残った場合の補償として、本会を保険契約者、会員を被保険者、本会を保険金受取人とする保険契約を締結しています。

本保険は、昨今の災害派遣における被災地での医療行為の際に、地震や災害等の事故で死亡あるいは後遺障害が残った場合にも、弔慰見舞金規定にのっとり下記の保険金が支払われるものです。

万が一そのような事故が発生した場合に、必要書類を本会あてにご提出いただければ、

—就業中の偶発的な事故による死亡・後遺障害—

本会が保険会社に保険金請求を行い、保険金を受領します。本会が受領した保険金は、ただちにご本人またはご遺族に弔慰見舞金として支給いたします。

死亡事由が下記に該当する場合は、本会までご連絡いただきますよう、お願ひいたします。

【保険種目】 【保険金額】

傷害総合保険
急激かつ偶然な外来の事故による死亡・後遺障害50万円
地震・噴火、これらを原因とする津波による傷害も補償

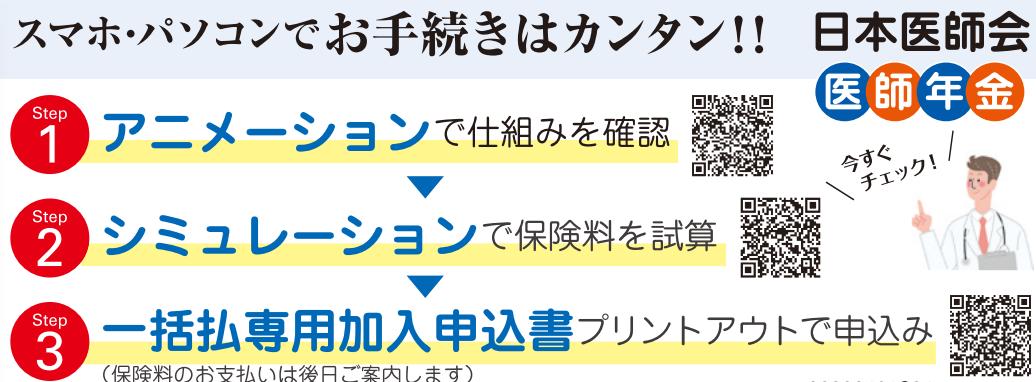
就業中のみ補償

【保険期間】 【引受保険会社】

令和7年11月1日から1年間（以降、毎年更新予定）
損害保険ジャパン株式会社

【問合せ先】

東京都医師会 総務課
TEL：03-3294-8830（直通）
e-mail：syomu@tokyo.med.or.jp



医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医ニュース NEWS

2025
Vol.
718

地区医師会長からの一言 府中市医師会の取組と課題

府中市医師会長 小林哲也



府中市医師会は、今後の高齢化等地域医療の課題に対応するため、生涯教育の充実、地域医療の推進、公衆衛生の向上を目指として、会員医師への研修機会の提供、行政機関や多職種との連携強化、最新の医療技術や情報提供を通じて、質の高い医療体制の維持と発展を目指しております。

当医師会では、毎月例会終了後、専門性の高い最新の知識を習得するために「学術講演会」を開催しておりますが、毎回多くの会員の参加を得ており、実臨床に役立つ内容が多く、活発な質疑応答になっています。

また、当医師会では、毎年1つテーマを決めて事業を推進しています。

直近では、コロナ禍明けの令和5年度、「心不全予防対策」としてNT-proBNP測定を医師会事業として実施しました。そのエビデンスを持って市と協議を行い、令和6年度には市の公的事業として「府中市心不全予防検診」がスタートし、検診対象者75歳の約29%がNT-proBNP高値で、市内病院にて循環器科受診、心エコー検査につなげております。この間、多くの医師会員の協力はもとより、都立多摩総合医療センター・榎原記念病院・府中恵仁会病院のサポートをいただきました。

令和6年度は、「慢性腎臓病対策」の促進として医師会での勉強会を重ねた上で、市内外の病院と連携して「地域連携パス」の構築に取り組み、令和7年度には同パスの運用を開始するとともに、行政機関のご協力を得て、特定健診に、それまで府中市では組み込まれていなかったeGFRや尿潜血検査を組み込むことができました。これにより、日本人の成人5人に1人が罹患していると推計される慢性腎臓病対策のスタートに立つことができました。

令和7年度は、改めて「認知症対策」を進めるため準備をしております。

そして、早急に対応しなければならない「災害対策」についてですが、その課題の1つとして「通信網の構築」があります。現在、府中市の災害対策本部の設置は、市役所本庁舎から

離れた府中消防署と合築となっている防災担当部署のフロアに想定されているところ、建築中の市役所本庁舎(新庁舎)が竣工した後には、同庁舎へ設置場所が変更となる予定です。この変更前・変更後のいずれにおいても、医師会員が務める災害医療コーディネーターの活動拠点、医療救護活動拠点は、別の離れた場所へ設置する想定となっており、東京都災害医療体制の第1層が空間的に分割されるため、市と医師会が密な連絡を取ることができる「通信網の構築」が喫緊の課題となっています。

また、医師会員向けに災害時対応の講演会を本年度は2回開催していますが、実践的な訓練としては、多くの医師会員がまだ経験していないことも課題です。

そこで、本年度、まずは市内「緊急医療救護所」設置場所の1つである都立多摩総合医療センター、府中市、当医師会が連携して行う訓練が11月30日に行われ、これを皮切りに、今後、他の市内「緊急医療救護所」における訓練も実施していきたいと考えております。

急性期を過ぎ、復興までの期間には医師会の役割が非常に大切になります。被災した医療機関の閉院を防ぎ、多職種が協力して地域医療を維持していく努力が必要ですが、具体的には何もできないこともあります。

そのほか、当医師会では、休日夜間診療、医師会訪問看護ステーション、市民健康講演会、学校医、産業医活動、ワクチン事業など多くの事業を進めています。

最後に一言追加です。医師会として、会員の生活基盤を守ることは大事な仕事です。医師会事業にご協力いただいている真面目な会員が、引き続き地域医療に貢献できるよう、東京都医師会、日本医師会におかれましては引き続きご尽力いただけますようよろしくお願いいたします。また、政治に携わる方々には、日本国が経済発展することによって、国民全員が恩恵を得られる社会にしていただきたいと思います。